

第6回 SaMD産学官連携フォーラム

事前登録制・参加費無料

近年、AI・IoT技術等の発展を受けて様々な新しいプログラムが開発され、従来の薬の服用による治療だけでなく、患者自身が直接操作して治療等をサポートする医療機器プログラム(SaMD: Software as a Medical Device)が登場し始めており、疾病の診断や治療を目的として世界的な産業へと発展しつつあり、本邦だけでなく世界的にも注目・期待されています。

本邦におけるSaMDの更なる開発・利用促進を図るべく、国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)で取り組んでいる事業の成果を産業界及びアカデミアに広く周知するとともに、研究開発段階や実用化段階に潜む課題やニーズを産学官が連携して抽出し、課題解決に向けた議論が求められています。これらを行う場として、経済産業省、厚生労働省、AMEDの主催によるフォーラムを開催します。

<第6回SaMD産学官連携フォーラムのテーマ>

【第一部: SaMDスタートアップの成長加速に向けた資本戦略とエコシステム形成】

近年、SaMD分野では、スタートアップの創出が進む一方で、事業化や成長に向けては規制対応や保険制度への適合のためのエビデンス構築等の研究開発が必要であり、その資金の調達が課題となっています。

今回、ベンチャーキャピタル(VC)の視点から、SaMDにおける投資判断の考え方や投資環境の現状について共有するとともに、スタートアップの成長を後押しするための支援のあり方等について議論します。

【第二部: 省力化・均てん化に資するSaMDの研究開発・普及の促進に向けて】

SaMDは、医療の効率化や医療従事者の負担軽減に加え、診断・治療の標準化を通じて医療の質のばらつきの是正につながるものとして、社会実装が進みつつあります。一方、医療現場への導入やエビデンスの構築、得られたエビデンスの評価の検討等の課題も残されています。今回、企業の取組を踏まえつつ、こうした課題と対応を共有し、今後の社会実装の方向性について議論します。

令和8年

9/16 水

13時00分～18時00分
(開場12時30分)

虎ノ門ヒルズフォーラム

東京都港区虎ノ門 1-23-3 虎ノ門ヒルズ森タワー5階

開催方法

ハイブリッド開催

(会場／オンライン)

※同時通訳あり(日・英)

定員

会場 500名

オンライン 1,500名

お申込締切

令和8年9月9日(水)まで

※会場・オンラインとも定員になり次第終了します。

お申込>>

国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)のインターネットHP -イベント一覧-、
もしくは直接下記Webサイト(QRコード)から

<https://k3rws.stage.ac/samd-forum2026/>



- 主催 経済産業省、厚生労働省、国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)
- 後援 国立医薬品食品衛生研究所、医療機器フォーラム、日本薬学会レギュラトリーサイエンス部会

開会

13:00-13:15 開会の辞・来賓挨拶

経済産業省、厚生労働省

施策等紹介

13:15-13:25 基調講演① 経済産業省 医療・福祉機器産業室長 大石 知広

13:25-13:35 基調講演② 厚生労働省 医療機器政策室長 永田 翔

13:35-13:45 基調講演③ 厚生労働省 医療機器審査管理課長 飯村 康夫

第一部：SaMDスタートアップの成長加速に向けた資本戦略とエコシステム形成

13:45-14:00 講演 ① 「SaMD、これからの10年 — VCとして描く資本戦略と海外展開」

Beyond Next Ventures株式会社 執行役員 橋爪 克弥

14:00-14:15 講演 ② 登壇者調整中

14:15-14:30 講演 ③ 「米国におけるSaMD開発及び市場動向について（仮）」

Kicker Ventures Founder & Managing Partner 清峰 正志

14:30-15:15 総合討論① ファシリテーター スタンフォード大学 リサーチャー 池野 文昭

パネリスト 講演①～③登壇者

15:15-15:30 休憩

第二部：省力化・均てん化に資するSaMDの研究開発・普及の促進に向けて

15:30-15:45 講演 ④ 「医師とAIで共創する未来 — 医療安全・省力化・均てん化から医療変革へ」

エルピクセル株式会社 代表取締役社長 鎌田 富久

15:45-16:00 講演 ⑤ 「世界に選ばれる日本発SaMD — 手術認識支援AI“EUREKA”の研究開発・社会実装・海外展開 —」

アナウト株式会社 代表取締役 小林 直

16:00-16:15 講演 ⑥ 「医療経営の視点から考えるSaMD導入の意思決定 ～患者・人材・収益を左右する価値とは～（仮）」

慶應義塾大学大学院 経営管理研究科／健康マネジメント研究科 特任教授 裊 英洙

16:15-17:00 総合討論② ファシリテーター 公益財団法人 医療機器センター 専務理事 中野 壮陸

パネリスト 講演④～⑥登壇者

閉会

17:00-17:05 閉会の辞 国立研究開発法人日本医療研究開発機構

ネットワーキング

フォーラム終了後、登壇者・参加者の交流を目的とした情報交換会を開催いたします。

17:15-18:00 情報交換会 ※会場での開催（飲料の提供あり）

※登壇者・講演タイトルにつきましては変更の場合があります。
最新の情報につきましては Web サイトをご確認ください。

お問合せ先>>

第6回SaMD産学官連携フォーラム事務局（株式会社ステージ内）

TEL:03-3554-5039

FAX:03-3455-1710

E-Mail:samd-forum2026@stage.ac